

新・教養教育カリキュラムマップ

2025.2.20現在

「対面」：A 「オンデマンド」：B 「オンライン」：C

「◎」必修 「○」選択必修 「/」選択不可 「★」必修 「☆」選択必修

		概要	科目名称（仮称）	単位	配当	学期	回数	形態	方法	授業概要	DP1		DP2		DP3					環境	子ども	管理	食品	SPARC環境	SPARC食品	MDASH	教職環境	教職食品	備考	
											(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)											
基礎教育（総合領域）	アカデミックリテラシー	レポートの書き方、文献検索、プレゼンテーションの基礎、コミュニケーション等、大学での学習に必要な知識や技術、学生に求められる常識・生活態度を身に付けることを目的とする。 新しい学修環境へのスムーズな移行を図るために必要な基礎知識を修得する科目を配置する。 履修：1年生～2年生	フレッシュセミナー	1	1	前	1	8	講義	A・B	南九州大学の歴史、建学の精神、教育目的等を理解するとともに、大学生活を送る上で必要な常識、基礎知識を学ぶ。 ※学長講話および学部学科説明はオンデマンド	○								◎	◎	◎	◎	★	★					
			アカデミックスキル	1	1	前		8	演習	A	大学での主体的な学習において必須となる基礎的スキル（聞き取る、調べる、読解する、書く、発表する、議論する等）を演習形式で総合的に学ぶ。（データを起点としたものの見方やデータ・AI利活用における研究動向を含む）	○								◎	◎	◎	◎	★	★	★				
			コンピュータ基礎A	2	1	前		15	演習	A	コンピュータの基本的な操作を学び、大学でのレポート作成に活用できる実践的な学習を行う。また、ITリテラシーとして大切なセキュリティやルールについても学ぶ。	○										○	○	★	★	★	★	★	PC操作経験によってA・Bどちらかを選択する	
			コンピュータ基礎B	2	1	前		15	演習	A	大学でのレポート作成やプレゼンテーションで活用できる実践的な学習を行う。また、ITリテラシーとして大切なセキュリティやルールについても学ぶ。【後期への変更の可能性あり】	○												○	○	★	★	★	★	
			文章表現の基礎	2	1	後		15	演習	A	大学生および社会人に求められる日本語表現技術の習得を目指す。グループワークによって、人の意見を聞く姿勢や自分の考えを人に説明する能力も身に付ける。	○								◎	◎	◎	◎	★	★				短大科目 「文章表現の基礎Ⅰ」	
			キャリアデザイン	2	1	後		15	講義	C	キャリア形成の基礎として、「自己理解」を深めるとともに、自分がこの社会でどう生きたいのか、そのために大学で何を学ぶのかを考える。											◎	◎	/	/	/				
		キャリアマネジメント	2	2	前		15	講義	C	自らのビジョンを持ち、目指す方向に進むために必要なマネジメントスキル（思考方法、方法論、管理論）を身に付ける。様々な社会経験を持ったゲストスピーカーからの講義も行う。											◎	◎	◎	◎	★	★				
		単位数		12	アカデミックリテラシー 必要最低単位数																8	10	10	8	8	8				
		自然科学分野	生物学の基礎	2	1	前		15	講義	A	高校生物の復習をするとともに、最新の科学の知識や技術を理解するために必要な生物学の基礎を身に付ける。	○		○									◎	/						食品：専門「生物学概論Ⅰ」環境：学芸員資格選択科目
			生物の世界	2	1	後		15	講義	C	生物学の意義や人類との関わりについて理解を深めるため、生物学的基礎を幅広く身に付ける。	○		○		○								/						食品：専門「生物学概論Ⅱ」環境：学芸員資格選択科目
	物理学の基礎		2	1	後		15	講義	B	高校物理の復習をするとともに、物理学の基本的な考え方や法則を学ぶ。	○		○	○					/			/							連携開設科目	
	物理学Ⅰ		2	1	前		15	講義	A		○		○	○					/		/						★	★		
	物理学Ⅱ		2	1	後		15	講義	A		○		○	○					/		/						★	★		
	地学の基礎		2	1	前		15	講義	A	地学（地球科学）の基礎を理解することにより、自然現象に興味を持ち、自ら進んで理解しようとする意欲や態度を育成する。	○			○													★	★		
	地学の世界		2	1	後		15	講義	A	地学現象が人類社会とどのように関わり、地学知識はどのような役割を担っているのか、などについて考察する。	○			○													★	★		
	化学の基礎		2	1	前		15	講義	A	高校化学の復習をするとともに、今後専門分野を学ぶための化学的基礎知識を習得する。	○			○				/			◎	/							環境：専門「化学概論Ⅰ」 食品：専門「化学概論Ⅰ」	
	化学の世界		2	1	後		15	講義	A	授業で学習した知識を使い、身近にある現象や物質を化学の視点で見ることができるようになる。	○			○	○			/		/									環境：専門「化学概論Ⅱ」 食品：専門「化学概論Ⅱ」	
	エコロジー入門		2	1	前		15	講義	C	生態系の概念など生態学の基礎知識を学ぶとともに、環境問題とその解決方法に関して考える。	○		○	○	○															
	生活の中の数学		2	2	前		15	講義	C	高校までの数学の知識を復習し、日常生活の中での数学の役割を知ることによって、日常生活における数学の活用力を高める。	○			○																
	単位数		22	自然科学 必要最低単位数															4	4	4	2	4	2						
	人文社会分野		日本国憲法	2	1	後		15	講義	A	憲法の基礎理論、知識などを学ぶことにより、日本国憲法の規定が我々の日常生活にどのように関わっているのかを理解する。	○			○	○					◎							★	★	
			歴史と社会	2	1	前		15	講義	C	学術研究がどのように歴史叙述となっていくのかを理解し、社会が形成される過程と諸課題に人々がどう向き合ってきたのかを学ぶ。	○				○														
			多文化共生論	2	1	後		15	講義	A	晩婚化・未婚化、少子化、貧困、LGBTQなど、現代の家族に関する社会現象や社会問題を手がかりに、家族と社会的状況との関係を考える。	○	○			○														
			現代人のこころ	2	2	前		15	講義	A	現代社会では多様な価値観や生活様式が認められており、体系的に心理を学ぶ必要がある。対人スキルや客観的視点が重視される医療・福祉・食品開発の分野で役立つ心理学の知識を習得することを目的とする。	○	○			○														
			哲学	2	1	後		15	講義	A	思想や自然科学は、哲学と宗教が交わることによって、より高次の解決を見出してきた。不即不離の関係にある哲学と宗教について学ぶ。	○	○			○												★	★	環境：学芸員資格選択科目
			社会と経済	2	1	後		15	講義	A	現在の経済状況と先人が築いた経済理論の基礎を学び、広く見識を養うための基礎を身に付ける。その知識によって現代社会が有する種々の課題を理解出来るようになることを目的とする。	○		○		○														
			時事問題研究	2	2	後		15	演習	C	新聞や雑誌の記事などを手掛かりにニュースの本質をとらえる訓練を行う。社会で生きるための問題意識並びにニュースを見る目、民主的な精神を培うことを目的とする。	○	○			○	○													
			美術史	2	2	前		15	講義	C	西洋美術史の通史を解説し、歴史の流れとそのエピソードを紹介しながら学習する。併せて日本美術史についても概略を解説する。	○	○																	環境：学芸員資格選択科目
	外国語	英語Ⅰ	2	1	前		15	講義	A	実践的英語の基礎的な語彙・表現を理解し、使えるようになる。TOEIC Bridge®テスト140～150点を目指す上で基礎となる英語力を身に付けることを目的とする。	○	○							◎	◎	◎	◎	★	★		☆	☆			
		英語Ⅱ	2	1	後		15	講義	A	実践的英語の基礎的な語彙・表現を理解し、使えるようになる。TOEIC Bridge®テスト140～150点を目指す上で基礎となる英語力を身に付けることを目的とする。	○	○								◎			★			☆	☆			
		英語コミュニケーション	2	2	前		15	演習	A	広く使える言葉を創造的に使えるようになり、日常の状況を英語で表現できるようになることを目的とする。	○	○														☆	☆			
		教養韓国語	2	2	前		15	演習	B	ハングルの製字思想・原理・発音を理解し、基礎単語・基本表現を習得して読み書きができるようになる。	○	○																		
		フランス語	2	2	後		15	演習	A	基本文法と会話を学び、フランス語での自己紹介と基本的な日常会話ができるようになる。	○	○														☆	☆			
		単位数		26	人文科学・外国語 必要最低単位数															4	4	4	6	6	6					
	数理・データ	データサイエンス入門	2	1	前		15	講義	B	大学生が基本的知っておかなければならないリテラシーレベルの内容（導入および心得）を中心に学び、研究や社会で数理・データサイエンス・AIがどのように活用されているかを理解する。【宮大教材借用】	○		○	○						◎			◎	★	★					
		データサイエンス応用	2	2	前		15	演習	B	データエンジニアリング、データサイエンスおよびAIに関する基本的な概念とデータ解析の手法に関する学びを通して、データに基づいた課題解決能力の育成を図る。【宮大教材借用】	○		○	○																
		プログラミング基礎演習	2	2	後		15	演習	A	プログラミングの初学者を対象にPython言語を用いてプログラミングの基礎演習を行う。	○		○	○																
		統計学の基礎	2	1	後		15	講義	C	データの特徴を抽出しまとめる記述統計学の手法から、推測統計の基礎までを網羅し、標本集団の統計的特徴の捉え方、統計的処理方法ならびに分析結果に対する考察の方法を取り扱う。	○		○	○					◎	◎	◎	◎	★	★	★			連携開設科目		
		単位数		8	数理・データ 必要最低単位数															4	4	2	4	4	4	4				
	スポーツ・健康	スポーツプログラムⅠ	1	1	前		15	実技	A	体力測定や多様なスポーツの実践を通して、スポーツがもつ魅力を感じてもらいながら、体力の維持や運動不足の解消につながる内容を中心に学習する。	○										◎	◎		★		★	★			
		スポーツプログラムⅡ	1	1	後		15	実技	A	スポーツを通してパートナーシップ、チームワークを培い、競技の基本的ルールを理解する。											◎	◎		★		★	★			
		健康・スポーツ科学	2	2	前		15	講義	C	健康の維持増進に必要な身体に関する科学的知識や、安全で効果的な運動の実践方法についての知識を習得し、自己管理能力を身に付けることを目的とします	○			○					○											
	単位数		4	スポーツ・健康 必要最低単位数																2	2	2	2	2	2					
	基礎教養 必要最低単位数（合計）																				22	24	22	24						

		概要	科目名称（仮称）	単位	配当	学期	回数	形態	方法	授業概要	DP1		DP2		DP3					環境	子ども	管理	食品	SPARC環境	SPARC食品	MDASH	教職環境	教職食品	備考	
(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)												
南九リベラルアーツ（複合領域）	【学部学科横断複合科目】 南九州大学の建学の精神、教育理念、教育目標に沿って、持続可能な社会づくりの担い手を育むために、本学の学部・学科の学問分野横断する特定のテーマについて複合的に学ぶことを目的とする。 SDGs（持続可能な開発目標）について、本学の研究教育分野に関連した複合的な内容の科目を配置する。 履修：1年生～2年生	地域学	（仮）食・緑・人A	2	I	前	15	講義	C	（仮）テーマ：宮崎の郷土と文化	○		○	○	○					◎	◎	◎	◎	★	★					
			（仮）食・緑・人B	2	I	前	15	講義	B C	（仮）テーマ：子どもの貧困と環境	○		○	○	○															
			（仮）食・緑・人C	2	I	前	15	講義	B C	（仮）テーマ：食と農の未来	○		○	○	○															
			単位数 6			南九リベラルアーツ 必要最低単位数																4	4	4	4	4	4			
地域共生（実践領域）	宮崎県の文化、産業、経済等を学び、地域への理解を深めることによって地域の課題を発見し、解決する実践能力を身に付けることを目的とする。 宮崎についての学びの科目及び地域産業界、自治体等と連携して、地元企業の課題や地域課題を題材とした課題解決に取り組むPBL型授業を行う科目を配置する。 地域理解科・課題実践科目 宮大連携科目+本学科目 履修：1年生～4年生	未来共創科目	地域キャリアデザインⅠ（キャリア）	2	I	前													◎	/	/	/	◎	★	★			連携科目（宮崎大学）		
			地域キャリアデザインⅠ（地域）	2	I	後															/	/	/	/					連携科目（宮崎大学）	
			地域キャリアデザインⅠ（プロジェクト設計）	2	I																/	/	/	/					連携科目（宮崎大学）	
			地域キャリアデザインⅠ（国際）	2	I																/	/	/	/					連携科目（宮崎大学）	
			地域キャリアデザインⅡ	2	3																/	/	/	/					連携科目（宮崎大学）	
			SPARCプロジェクト実践Ⅰ（提案型）	2	2																/	/	/	/					連携科目（宮崎大学）	
			SPARCプロジェクト実践Ⅰ（実践型）	2	2																/	/	/	/	☆	☆			連携科目（宮崎大学）	
			SPARCプロジェクト実践Ⅱ（共創型）	2	3																/	/	/	/					連携科目（宮崎大学）	
			SPARCプロジェクト実践Ⅱ（起業型）	2	3																/	/	/	/	☆	☆			連携科目（宮崎大学）	
			SPARCプロジェクト実践Ⅱ（事業変革型）	2	3																/	/	/	/					連携科目（宮崎大学）	
			SPRAC学生取得必要単位																		2				2	6	6			
		体験科目	地域貢献プロジェクトA	2	2 5 4	後	15	演習	A	宮崎市（近郊含む）活性化のための方策について提案を行う。本授業を通して宮崎市を深く理解するとともに、社会人基礎力、ジェネリックスキル、実践力を養う。（最少履修数：5人） 実施場所：宮崎キャンパス	○			○	○	○	○	○												短大科目「地域貢献プロジェクト」
			地域貢献プロジェクトB	2	2 5 4	前	15	演習	A	都城市（近郊含む）活性化のための方策について提案を行う。本授業を通して都城市を深く理解するとともに、社会人基礎力、ジェネリックスキル、実践力を養う。（最少履修数：5人） 実施場所：都城キャンパス	○			○	○	○	○	○											短大科目「地域貢献プロジェクト」	
			インターンシップ	1 ・ 2	2 5 4	通	-	実習	A	大学が企業・団体と協定を締結し提供するインターンシッププログラムに単位付与する。実働時間が30時間以上の活動に対して、1単位、実働時間が60時間以上の活動に対して2単位を認める。	○			○		○		○												
			ボランティア実践	2	2 5 4	通	-	実習	A	ボランティア活動という経験を通して、社会と向き合い、自分自身の今と将来を見極める能力を身に付ける。 ①ボランティア講習会②学外施設・団体等における60時間以上の活動③活動日誌と終了レポートの作成④ボランティア活動報告会への参加	○				○	○	○	○												
			ICTを用いた言語・文化コミュニケーション基礎	2	2 5 4																									連携科目（宮崎大学）
			英語で学ぶ21世紀における国際的なGXの取り組み	2	2 5 4					B																				連携科目（宮崎大学）
			地域共生 必要最低位数																											
		卒業（プログラム修了）に必要な最低単位数																		28	28	26	28	34	32					
		〔認定上限単位数〕																			〔38〕	〔32〕	〔26〕	〔34〕	〔38〕	〔34〕				